

'92チャレンジカップ。強い山形V6達成!

'92CMSCチャレンジカップ結果発表/クラブ別部門

'92年度のCMSCチャレンジカップの結果が右表の通り確定しました。スタートから終始安定したリードを保っていたCMSC山形がV6を見事に達成しました。会長の小川日出生選手も連覇を達成。それに加え、選手層の厚さがV6を生んだのでしょう。2位には昨年に続いてCMSC青森が、終盤追い上げた3位の群馬を僅差で押さえて2位を守りました。

昨年、一昨年に比べ1位2位の差が縮まっています。今年は、山形のV7達成にも大いに興味がありますが、他の支部のV7阻止も大いに期待できるのではないのでしょうか。皆さんの健闘を祈ります。

●クラブ別ポイント		1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
1位	山形	425	486	553	—	1464
2位	青森	318	390	464	—	1172
3位	群馬	360	192	484	44	1080
4位	福島	—	—	844	—	844
5位	岐阜	253	195	213	1	662
6位	香川	222	308	40	—	570
7位	札幌	242	199	98	—	539
8位	鳥根	122	118	221	—	461
9位	帯広	275	155	22	—	452
10位	岩手	149	144	—	82	375
11位	仙台	64	35	—	116	215
12位	千葉	4	62	146	—	212
13位	愛知	71	74	56	—	201
14位	埼玉	64	19	58	7	148
15位	大阪	46	30	16	—	92
16位	栃木	42	24	—	7	73

決定!各部門別チャンプ。

ラリードライバー部門、岐阜・鷺見宏康選手、
山形・渡辺俊昭両選手が同点首位。
ラリーナビゲーター部門、福島・佐藤忠宜選手。
ダートトライアル部門、岐阜・榎田正文選手。
ジムカーナ部門、青森・小館久選手。
レース部門、小川日出生選手の連覇。

ダートトライアル部門



激戦のダート・トライアル部門を制したのは終盤に逆転した榎田正文選手。2位には宝田芳浩選手が僅差で入り、3位には荒井信介選手が入賞。昨年の覇者高竹選手は4位に終わりました。

1位	岐阜	榎田 正文	378
2位	札幌	宝田 芳浩	356
3位	群馬	荒井 信介	297
4位	香川	高竹 優之	284
5位	山形	菅野 茂	273
6位	岩手	及川 光政	242

ラリー・ドライバー部門



終始リードを保っていた鷺見宏康選手を終盤、渡辺俊昭選手が猛追。遂には並んで同点トップという結果になりました。3位には着実ポイントを伸ばした小林正夫選手が入りました。

1位	岐阜	鷺見 宏康	188
1位	山形	渡辺 俊昭	188
3位	群馬	小林 正夫	98
4位	千葉	勅使川原 光	96
5位	札幌	千田 俊二	74
6位	青森	対馬 雅人	66

ジムカーナ部門



一時はトップにたった須田行雄選手を再逆転して栄冠を獲得したのは小館久選手。2位には須田行雄選手。3位には青森勢の佐々木堅太郎選手があわや2位というところまで迫りました。

1位	青森	小館 久	350
2位	福島	須田 行雄	264
3位	青森	佐々木 堅太郎	240
4位	福島	鈴木 正孝	107
5位	福島	菅野 茂	49
6位	福島	佐藤 宏昭	43

ラリー・ナビゲーター部門



この部門では後半追い上げた佐藤忠宜選手が大差のリードで栄冠を獲得。2位には昨年に続いて山形勢の今野泰正選手。3位には前半の貯金を活かして対馬隆志選手が粘り込みました。

1位	福島	佐藤 忠宜	258
2位	山形	今野 泰正	130
3位	青森	対馬 隆志	106
4位	群馬	金子 誠司	98
5位	愛知	朝岡 達也	86
6位	青森	山崎 茂樹	64

レース部門



V6を達成した山形勢。そのリーダー小川日出生選手が今年も圧勝。2位には川口法行選手が入り、山形勢のワンツーフィニッシュを阻止。3位には山形の鈴木一彦選手が入賞しました。

1位	山形	小川 日出生	230
2位	栃木	川口 法行	46
3位	山形	鈴木 一彦	42
4位	埼玉	瀬在 仁志	32
5位	仙台	東江 誠	30

ラリー・ドライバー部門

7	三谷	義和	千葉	62
8	船津	康一	群馬	60
9	佐藤	一彦	埼玉	52
9	小出	辰彦	愛知	52
11	嶋口	中也	青森	48
12	中田	裕二	大阪	46
13	坂本	均	青森	44
14	福本	光志	帯広	41
15	丹羽	浩道	千葉	34
16	葛西	満	青森	30
17	阿部	美和子	仙台	29
18	工藤	長実	岩手	27
19	三浦	秀夫	仙台	22
20	佐藤	政一	仙台	21
21	石田	隆雄	青森	20
21	椀沢	宏之	青森	20

ラリー・ナビゲータードライバー部門

7	中村	洋次	帯広	41
8	高柳	満	愛知	38
9	瀬々	徹	埼玉	34

9	内田	昭佳	群馬	34
11	伴	英憲	青森	30
12	浅沼	高典	岩手	25
13	石田	隆雄	青森	20
14	上原	力	埼玉	18
15	麻場	武	群馬	17
16	因	俊郎	愛知	16

ダートトライアル部門

7	赤羽	政幸	山形	204
8	杉山	敏夫	山形	172
9	岩田	恒廣	群馬	168
10	渡辺	康	山形	166
11	白井	修	香川	164
12	国谷	益雄	島根	160
13	大井	こずゑ	群馬	146
13	青沼	達也	帯広	146
15	佐藤	秀昭	福島	123
16	近藤	健司	香川	94
17	山口	義則	帯広	69
18	千田	俊二	札幌	58
19	角田	秀	群馬	55

20	馬淵	貴則	帯広	52
21	福岡	量彦	島根	50
22	工藤	長実	岩手	45
23	伊東	実	岐阜	40
23	館山	正嗣	青森	40
25	伊吹	浩明	帯広	39
26	田中	肇	島根	38
27	幸野	政道	岐阜	36
28	石川	謙二	島根	32
29	福士	文秀	青森	30

ジムカーナ部門

7	久保田	億	青森	40
8	北脇	幹人	島根	32
9	古藤	浩美	島根	29
10	渋谷	和彦	仙台	20
11	杉坂	啓一	島根	16
12	神田	昌明	島根	15
13	吉原	明	群馬	14
14	猪股	安史	仙台	12
14	佐藤	高広	仙台	12
16	川名	宏樹	仙台	11

各部門チャンプのコメント

ラリー・ドライバー部門 鷲見康宏選手
 昨年からCMSC岐阜へ入れていただいて1位を取らせていただき有難うございました。ポイント獲得のダメ押しに必勝体勢で戦ったノンタイトル戦で、長沢選手・佐藤選手組（Cクラス）とともにBクラスで優勝できたことは、CMSCの名を少しでも高めることができたことと喜んでます。今年もD・E地区戦を中心に頑張りたいと思います。

【ラリー・ナビゲーター部門 佐藤忠宣選手】
 89年来の受賞で大変嬉しいですよ。
 92年は6人のドライバーと組みBC地区をメインに15戦出場し1位が4度ありました。93年もランサーエボリューションでBC地区をメインに出場し、チャレンジカップも連覇を狙います。

【ダート・トライアル部門 榎田正文選手】
 92年度はあわや全日本5度目のチャンピオンかと思いましたが2位に終わって残念です。
 今年はランサーワンメイクなどで初心に戻りゼロか

らチャレンジして行くつもりです。

【ジムカーナ部門 小館久選手】
 一位になれてとても嬉しく思います。
 今年も、ミラージュで東北シリーズのチャンピオンを狙っています。

【レース部門 小川日出生選手】
 連続で表彰されるのはとても嬉しいことなのですが、私としては、一日も早く、若手が抜いてくれる事を心待ちにしています。

CMSC広島発足。

CMSC広島

この度、伝統あるCMSCの支部として、加盟させていただきますこととなりましたCMSC広島です。
 現在チーム員は31名で、その前進は昭和63年に設立いたしましたチーム中国三菱レーシングで、中国三菱自動車のバックアップを受けて設立した経緯もあり、三菱自動車愛好家の集まりとしてダートトライアル・ラリーを中心に活動してまいりました。

今後は、CMSC本部および各支部の皆様のご指導のもと、より一層モータースポーツ活動に邁進して行こうと思っております。
 なにぶん設立したばかりで、本部・各支部の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけする事とは思いますが、チーム員一同CMSCの名に恥じぬよう頑張っておりますので、今後とも皆様方の御協力、御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。
 (CMSC広島 会長 岩根つもる)



クラブ員と岩根つもる会長

余談ですが……

CMSC帯広

昨年の暮れに、「今年一年おつかれさまでした」と言うことで忘年会を開きました。いろいろな出来事を語り合いながら、時の経つのも忘れるほどに、飲み、食べ大変な盛り上がり様でした。その後雪の降る中、パットパットゴルフ大会を行ないまたまた白熱して大騒ぎした次第です。

写真に映っているジャンパーは、今回みんなでそろえたラリーアートジャンパーです。背中にチーム名をプリントし、胸にはエンブレムを飾りました。このジャンパーは非常に防寒性にも優れていて、帯広のマイナス20℃以下の気温でも平気です。スキーウェアとしても使えて、大変おとくな気がします。みなさんも揃えてみてはいかがでしょうか!?
 (CMSC帯広 青沼達也)

